



地方公会計研修

◆研修のねらい

新地方公会計制度の概要を理解する。また、公会計の財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書等）の仕組みを理解し、その分析・活用のあり方について基礎的な知識を修得する。

※地方公営企業（水道や下水道会計等）会計の基礎的な知識の習得のためには、別途実施する地方公営企業会計研修を受講するようにしてください。

◆研修概要

統一的な基準に基づく、具体的な財務書類の作成方法や活用方法を、演習を通して学びます。

◆こんな人におすすめ

- 財政担当新任者
- 財務書類の読み方、活用の仕方を学びたい職員
- 財務情報の活用に向け、公会計の整備をしたい職員

◆研修内容

- 新地方公会計制度の概要
- 新地方公会計制度の解説（複式簿記の考え方）
- 新地方公会計制度の解説（個別論点）
- 財務書類の自治体経営への活用

◆研修情報

- 対象者 公会計制度を担当し、複式簿記の基本的な知識を有する職員
- 募集人員 42名
- 日程 令和2年9月10日(木)～11日(金)
- 研修形式 スクール

◆登壇予定講師

EY新日本有限責任監査法人 福岡事務所
公認会計士 久米村 翔 氏

◆昨年度の受講者の声

- 財務書類の基礎知識や基本的な用語が詳しく説明され、理解できた。
- 総務省マニュアルがコンパクトにまとまっていてわかりやすかった。
- 不明点が解消された。公会計整備に活かしたい。

◆講師からのメッセージ

生産年齢人口の減少に伴い地方税収は減少していくことが予想される一方、本来手当が必要な更新投資が不足し施設の老朽化が進んでいます。限られた財源をいかに活用するかが重要になってきます。地方公会計は自治体経営に必要なデータを整備するための情報インフラの整備です。その情報インフラ整備の具体的な作成方法や見方、実際の活用の方向性について概要を学んでいきましょう。

◆スケジュール ※時間割は目安です。

	10:00	10:15	11:45	12:45	16:45
1 日目	オリエンテーション	新地方公会計制度の概要	休憩	新地方公会計制度の解説 (複式簿記の考え方)	
2 日目	9:00	11:45	12:45	15:00	16:00 16:30
	新地方公会計制度の解説 (個別論点)	休憩	午前つづき	財務書類の自治体 経営への活用	事務連絡

◆関連研修

- 地方公営企業会計研修（令和2年度新規研修）